

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原哲也	
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	浦田信智	
	基本事業	80	歴史と伝統文化に触れる機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	2522	
予算科目	会計一般	款10	項5	目7	事業連番10836	法令根拠	文化財保護法		成果優先度評価結果	⑩
									コスト削減優先度評価結果	③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志歴史資料館と西合志郷土資料館の適正な維持管理市の歴史的な遺物・資料の保存活用を図るため、平成7年に開始された。成果指標「維持・保存・整理できなかった資料数」を指標として不適当と判断し削除した。
【業務の流れ】	資料館の適正な管理、収集資料の保存・整理、必要な時に収蔵資料の燻蒸業務、電気料金の支払。 平成19年度より消防設備点検・自動ドア保守点検委託。業者選定、入札、契約、発注、検査、支払。 平成23年度より、10830合志歴史資料館維持管理事業と統合し、10836合志市郷土・歴史資料館維持管理事業として開始。事業内容も2つの資料館で行っていた業務を併せて行う。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費)、役務費、委託料、使用料および賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	以前は2年に1度燻蒸業務を行っていた。 H23年度は燻蒸年だったが、予算不足のためH24年度に延ばした。 近年は燻蒸を行うこと自体あまり好ましくないという考え方がなってきたため、H24年度以降は、必要な時に燻蒸を行うこととする。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
常設展示品及び収蔵資料の維持・保存・整理を行った。資料館の適正な管理を行った。	常設展示品及び収蔵資料の維持・保存・整理。資料館の適正な管理。必要に応じて資料館の燻蒸の実施。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:点検業務実施回数	回 燻蒸業務の委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
西合志郷土資料館内の収蔵資料	(単位) ア:収蔵資料数 点
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
良好な状態に維持・保存・整理できる	(単位) ア:苦情対応件数 件
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 回 イ	2	2	2	2	2	2	2	2	
②対象指標	ア 点 イ	300	300	300	300	300	300	300	300	
③成果指標	ア 件 イ	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,031	812	1,024	843	2,335	1,024	1,024	1,024
	(A)事業費計	千円	1,031	812	1,024	843	2,335	1,024	1,024	1,024
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	0	90	160	150	160	160	160	
	(B)人件費計	千円	0	370	659	605	659	659	659	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,031	1,182	1,683	1,448	2,994	1,683	1,683	

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の事後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状の維持・管理を維持する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 旧町区分で資料館が1館ずつあるため、今後は統合について検討を要する。事業については、平成23年度から統合している。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設の維持管理は現状でやとまかなえる程度であり、削減すれば成果が下がる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 資料館の展示品及び収蔵資料の維持・保存・整理は継続的な時間が必要であり、削減の余地なし。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市の財産が収蔵された資料館を維持・管理することは、市民全体に対して義務であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						